

# 「高松港及び坂出港におけるクルーズ船の寄港促進 に向けた課題と対応」に係るフォローアップ

# 目次

・課題1	： 瀬戸内海における航行規制	.....2
・課題2	： 効果的な誘致活動	.....6
・課題3	： 瀬戸内海各港の連携・相互補完による「お断りゼロ」の実現	.....11
・課題4	： 効果的なクルーズ船の受入体制	.....12
・課題5	： クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供	.....14
・課題6	： 港におけるCIQ手続き時の旅客負荷	.....15
・課題7	： 国際埠頭施設での大型バス等受け入れのための対応	.....19
・課題8	： 高松港における港湾貨物との競合	.....21
・課題9	： 坂出港における港湾貨物との競合	.....22

# 課題1: 瀬戸内海における航行規制

## 対応

### 短期:

- ・全長200m未満のラグジュアリークラスの小型船やプレミアムクラスのクルーズ船の寄港促進。←香川県・坂出市
- ・昼間の航行時において、クルーズ船と他の船舶双方の安全確保の観点から、備讃瀬戸航路によらない代替航路の存在をクルーズ船社に周知・PR←香川県・四国地方整備局
- ・夜間停泊と昼間の航行といったクルーズプランの可能性の検討。←香川県・坂出市

## 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

### 短期:

- ・定期的にクルーズ船社等へ訪問し、国内への配船時期等の情報を収集するとともに、ポートセールスを実施。(随時)(香川県)
- ・高松港までの航行ルートについて、備讃瀬戸東航路と代替航路の存在をクルーズ船社に周知するとともに、代替航路の航行実績を紹介。(随時)(香川県)
- ・高松港は、クルーズ船の停泊場所が市街地から近く、徒歩圏内に商店街等があり、自由に散策可能であることを積極的にPRするとともに、夜間停泊の商品造成を提案。(随時)(香川県)
- ・平成29年11月27日、近畿運輸局、神戸運輸監理部、中国運輸局、四国運輸局、九州運輸局の5部局で構成される「瀬戸内海観光連携推進会議」主催の「瀬戸内クルーズセミナーin大阪」において、(株)せとうちクルーズに対して坂出市の観光地のPRを行った。(坂出市)

## 今後の対応予定

### 短期:

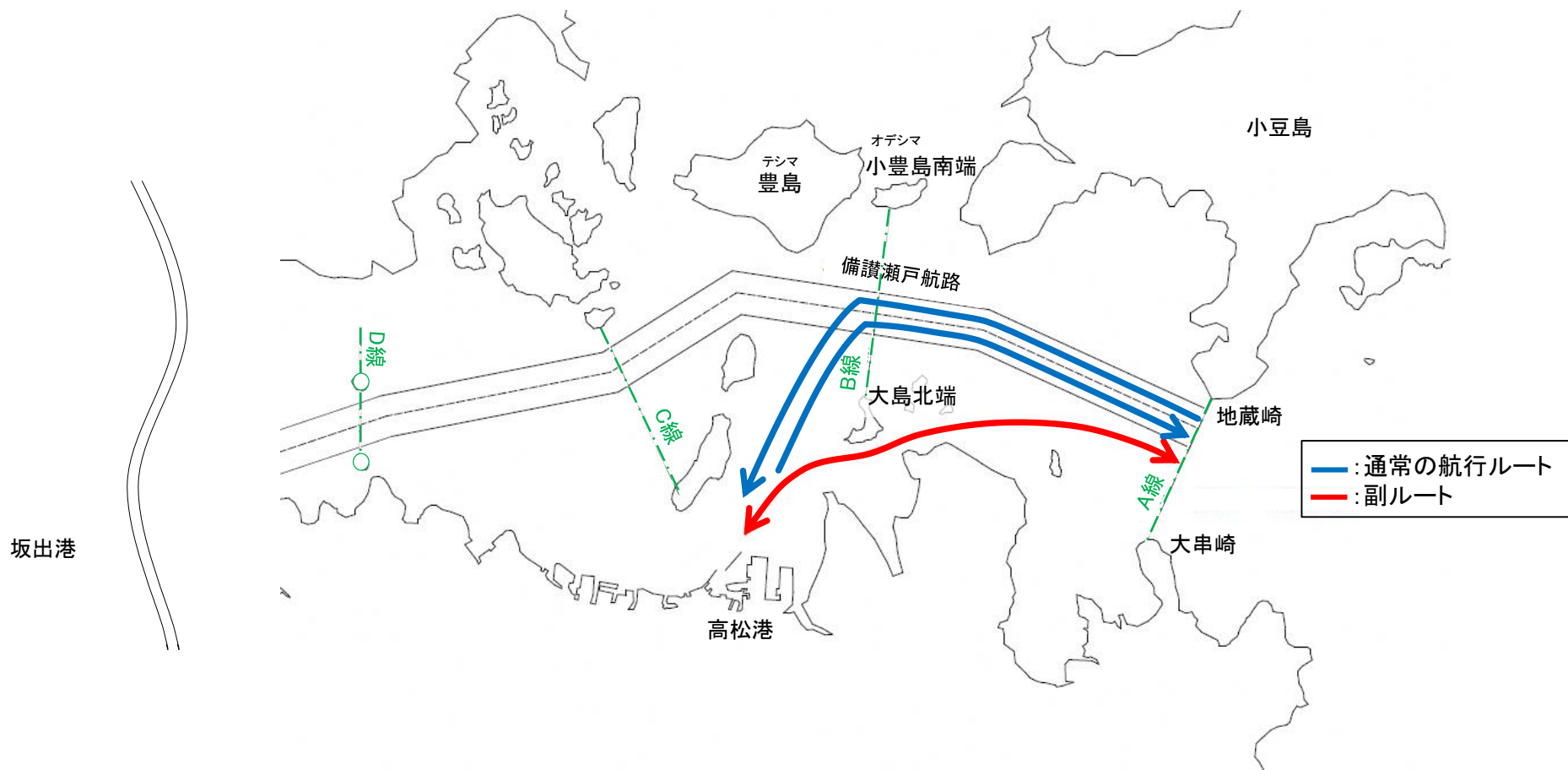
- ・引き続き、クルーズ船社等を積極的に訪問。(香川県)
- ・今年3月に開催予定の「シートレード・クルーズ・グローバル2018」共同出展に参加し、全長200m未満のラグジュアリークラスの小型船誘致に向け、PRの予定。(香川県)
- ・全長200m未満のラグジュアリークラスの小型船やプレミアムクラスのクルーズ船の寄港促進に向け、坂出ニューポートプラン策定後に設置を予定している懇談会の中で協議する予定としている。(坂出市)

## (参考) 東側海域から高松港への入出港ルート

長さ50m以上の船舶がA線とB線との間を航行しようとする場合は、海上交通安全法により、備讃瀬戸航路を航行することが義務づけられているが、A線とB線との間を航行しない場合は、この限りではない。

このため、高松港へ入出港する際に、クルーズ船と他の船舶双方の安全確保の観点から、B線を通過しない航路(以下、「副ルート」と称する)を活用することができる。

当該副ルートの航行については、既に、飛鳥Ⅱにおいて実績がある。今後、高松港へのクルーズ船誘致の際に、副ルートの存在を積極的にPRしていくことも有効。



# (参考)港内で夜間停泊する場合の航行コース

高松港または坂出港の港内停泊や沖合に停泊し、翌日昼間に瀬戸内海を航行するコースが考えられる。

例)クルーズコースの例

阪神方面を朝に出港し高松港または坂出港に昼に寄港。1泊して翌朝出港する。

1日目:①神戸港・大阪港(早朝発) → ②昼間航行 → ③1泊停泊

大阪湾を出発し、明石海峡大橋を船上から見上げ、播磨灘を通り、昼間高松港に寄港し、背後地または島々を観光する。夜間は魅力的なイベント(花火大会やライトアップイベント等)を楽しむ。

2日目:④早朝発→⑤瀬戸内海の多島美を見ながらの日中航行

瀬戸大橋及び来島海峡大橋を船上から見るダイナミックな景色や、燧灘及び斎灘での多島美の景観を楽しむ。

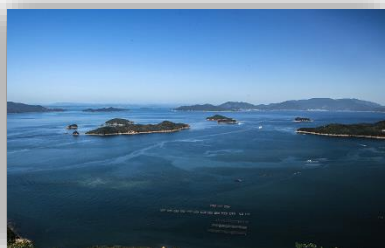
来島海峡航路における「巨大船の航路通報受付開始」

**4日前 → 1年前**

※一定の要件のもと拡大(平成30年1月1日(月)～)

【一定の要件とは】

- 巨大船(長さ200m以上の船舶)であること
- 従来の巨大船通航にかかる条件に則った一つの入港可能時間帯で、速力12ノットで航行する巨大船が3隻以上通航できる時間が確保されている場合において、そのうちの1隻分のみの受付であること



①五色台から望む瀬戸内海(香川県 高松市)



②女木島から望む高松港(香川県 高松市)



③瀬戸大橋(香川県 坂出市)



④しまなみ海道と夕日(愛媛県 今治市)

掲載写真:香川県観光協会HP、いよ観ネットフォトギャラリーより

# (参考)港内で夜間停泊する場合の高松のアクティビティー

## 香川県における夜間イベント等の事例

現在、飛鳥Ⅱにおいて、「さぬき高松まつり花火大会」の夜間イベントを活用したクルーズが行われているところ。これら夜間にしか体験できない魅力的なイベントを新たなクルーズ船寄港コースとしてPRに活用していくことも重要。



栗林公園春のライトアップ 3月下旬～4月上旬



さぬき高松まつり花火大会 8月中旬



さかいで大橋まつり 8月上旬



むれ源平石あかりロード 8月上旬～9月中旬



屋島山頂からの高松市の夜景

## 【その他の夜間イベント等】

- ・塩江ホテルまつり 6月上旬
- ・まるがめ婆娑羅まつり 8月中旬
- ・まんのう公園サマーナイト  
フェスティバル 8月中旬
- ・田村神社灯籠祭 8月中旬
- ・みろく納涼夏まつり 8月中旬
- ・キャンドルナイトin小豆島 9月中旬

## 課題2:効果的な誘致活動【高松港】

### 対応

**短期:**・リピーターを含むターゲット(客層)毎のクルーズプランの作成・PR。←香川県・高松市・観光協会等

【クルーズプランの提案】

例)ポジショニングクルーズ、レール&クルーズ、フライ&クルーズ等、高松港及び坂出港エリアの資源を活かしたクルーズプランの提案。

例)クルーズ船寄港港と離島航路とを連携したエクスカーション・ツアーの提案。

例)テnderボートを活用した離島周遊のエクスカーションツアーの提案。

・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。←既に対応済み

・備讃瀬戸航路における輻輳時等における代替航路のPR。←香川県・四国地方整備局

・国主催による商談会等への積極的な参加、及び船社訪問(四国地方整備局及び四国運輸局は、主催する商談会等の情報を提供する。)←香川県

・クルーズ活性化検討会や勉強会を開催し、地元のクルーズ船への関心を高めるとともに、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。←香川県・高松市

**中長期:**【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】

例)地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。

### 対応の取組状況・到達点(平成30年(2018年)3月時点)

**短期:**

・外国船社を訪問するなど、ポジショニング・クルーズでの高松港寄港のため、具体的な運航ルートを提案。(随時)(香川県)

・クルーズ船をチャーターする旅行会社に対し、四国を中心とするレール&クルーズによる集客状況を紹介。(随時)(香川県)

・観光庁・JNTO主催の外国クルーズ船社商談会等に参加。(H29.10、H30.1、H30.3)(香川県)

・中国地方整備局主催の「第4回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会」(H30.2.8)商談会参加(香川県)

**中長期:**

・県民のクルーズ船の関心を高めるため、寄港時の船内見学会を開催。(H29.9、H29.12、H30.1)(香川県)

### 今後の対応予定

**短期:**

・引き続き、観光庁・JNTO主催の外国クルーズ船社商談会等に参加。(香川県)

・「四国における瀬戸内海クルーズ振興に向けた提言書」を英訳し、四国地方整備局のHPに掲載する。(四国地方整備局)

**中長期:**

・大型クルーズ船の寄港に備え、乗船客に対する観光案内ブースなど受入れ体制の在り方を検討。(香川県)

## 課題2:効果的な誘致活動【坂出港】

### 対応

**短期:**・国主催による商談会等への積極的な参加、及び船社訪問(四国地方整備局及び四国運輸局は、主催する商談会等の情報を提供する。)←坂出市・香川県

・クルーズ活性化検討会や勉強会を開催し、地元のクルーズ船への関心を高めるとともに、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。←坂出市・香川県

**中長期:**・リピーターを含むターゲット(客層)毎の観光ツアープランの作成・PR。←坂出市・香川県・香川県観光協会

・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。←坂出市・香川県

【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】

例)地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。

### 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

**短期:**

・平成29年11月27日、近畿運輸局、神戸運輸監理部、中国運輸局、四国運輸局、九州運輸局の5部局で構成される「瀬戸内海観光連携推進会議」主催の「瀬戸内クルーズセミナーin大阪」において、(株)せとうちクルーズに対して坂出市の観光地のPRを行った。(坂出市)

**中長期:** 未実施。

### 今後の対応予定

**短期:**

・商談会への参加。(坂出市)

・「四国における瀬戸内海クルーズ振興に向けた提言書」を英訳し、四国地方整備局のHPに掲載する。(四国地方整備局)

**中長期:**

・坂出ニューポートプラン策定後に設置を予定している懇談会の中で協議する予定。(坂出市)



# (参考)高松港及び坂出港エリアの資源を活かしたクルーズプランの提案

日本海側から瀬戸内海といったクルーズ海域を移るポジショニング・クルーズの提案や、JR四国と連携したレール&クルーズの提案、高松空港を使ったフライ&クルーズの提案も考えられる。

## ■ポジショニング・クルーズの事例

- ・寄港地のベストな時期を考え、発着地を換えるクルーズ。



## ■レール&クルーズの事例

- ・電車での移動とクルーズを組み合わせたクルーズ

(例)につぼまるによるレール&クルーズ

高松港 ~ 軍艦島周遊・上五島(青方港) ~ 高松港



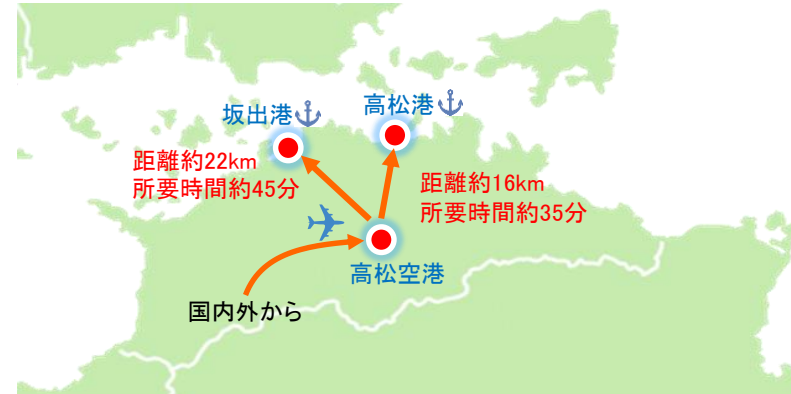
平成29年3月24日 につぼ丸寄港(高松港)



高松駅から玉藻地区岸壁(-10m)まで約650m

## ■フライ&クルーズの事例

- ・飛行機での移動とクルーズを組み合わせたクルーズ



# (参考) 離島航路と連携したエクスカージョンの案

## 離島航路と連携した芸術鑑賞ツアーの案

高松港及び坂出港からは美術館等へのアクセスが良く、更に高松港からは定期船や用船を利用することで、島々への観光が可能となることから、瀬戸内芸術祭などと連携し、芸術をテーマとした昼間の観光プランを組み合わせることも有効。



香川県立東山魁夷  
せとうち美術館

掲載写真: 香川県観光協会HPより



ベネッセアートサイト直島

掲載写真: 四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所撮影



香川県立ミュージアム

掲載写真: 香川県観光協会HPより



高松市立美術館

掲載写真: 香川県観光協会HPより



坂出市民美術館

掲載写真: 坂出市HPより



中津万象園・丸亀美術館

掲載写真: 香川県観光協会HPより



イサム・ノグチ庭園美術館

— : 瀬戸内芸術祭開催時における定期船航路

# (参考) テンダーボート(通船)を活用した離島周遊のエクスカージョンツアーの案

瀬戸内海の多島美や瀬戸内諸島の魅力を最大限生かし、沖合に停泊したクルーズ船からテンダーボート(通船)で瀬戸内海諸島へ周遊するクルーズ振興も魅力的なクルーズプランになりうる。

「にっぽん丸」では、2016年の「瀬戸内国際芸術祭2016パートナーシップ特別企画 芸術祭鑑賞クルーズ」において、本船を高松沖に停泊させ、通船またはテンダーボートによる直島、女木島、男木島、小豆島への寄港が行われた。

## ■ 芸術祭鑑賞クルーズのスケジュール

にっぽん丸 神戸発～広島着3日間

日時	寄港地	スケジュール
10月11日(火)	神戸	9:00出港
	宇野	13:30入港
		通船に乗り換え、直島へ移動
		「地中海美術館」貸切鑑賞 「ベネッセハウスミュージアム」鑑賞
高松	通船で高松港へ移動、にっぽん丸乗船	
10月12日(水)	高松	高松沖停泊
		通船にて、直島・女木島・男木島・小豆島へ移動
		各地美術館等を鑑賞
10月13日(木)	高松	4:00出港
		瀬戸内・しまなみ街道クルーズ
	広島	15:00入港

## ■ 芸術祭鑑賞クルーズの寄港ルート



※青色は、1日目に通船またはテンダーボートを利用して移動したルート  
赤色は、2日目に通船またはテンダーボートを利用して移動したルート  
灰色は、本船での移動ルート



通船を利用した移動



通船から沖泊中の本船へ乗船

(出典: 商船三井客船オフィシャルサイト)

# 課題3：瀬戸内海各港の連携・相互補完による「お断りゼロ」の実現

## 対応

### 短期：

- ・クルーズ船寄港要請の「お断りゼロ」に向けて、瀬戸内各港でクルーズ船の受入を補完できるよう、連携体制の充実を図る。  
←香川県・坂出市、四国地方整備局
- ・特に、高松港・坂出港は、クルーズ船誘致や背後観光地のPRについて連携して実施する。←香川県・高松市・坂出市・香川県商工会議所・香川県観光協会・香川県バス協会・四国地方整備局

## 対応の取組状況・到達点（平成30年（2018年）3月時点）

### 短期：

- ・平成29年11月に開催された瀬戸内海観光連携推進会議のクルーズ船社商談会において、香川県、高松市、坂出市などが参加し、クルーズ船社から、人気のある観光ツアーやイベント、今後の国内の配船計画等について情報収集するとともに、船社に県内観光地等をPR。（随時）（四国地方整備局・香川県・高松市・坂出市）

## 今後の対応予定

### 短期：

- ・国から、「お断りゼロ」に関する連絡がある場合には、速やかに受入れの可能性を検討。（香川県）
- ・大型クルーズ船の寄港に備え、観光ツアーやシャトルバスの運行等によるバス不足の解消のため、香川県バス協会等との連絡体制を強化。（香川県）
- ・体験受入施設の支援、外国人観光客へのサービス向上に向けた「おもてなし向上事業」の実施、回遊性をもたらすイベント開催、観光マップ等の多言語化（香川県商工会議所連合会）
- ・クルーズ船社を現地に招聘するファミツアーの提案があった場合は、瀬戸内海周辺の地方整備局と連携し、港湾管理者と調整を行う。（四国地方整備局）
- ・瀬戸内各港でクルーズ船の受入を補完できるよう、四国地方整備局、香川県及び坂出市との連携体制の充実を図る。（坂出市）

# 課題4: 効果的なクルーズ船の受入体制 ■ 高松港

## 対応

### 短期:

・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。

←既に対応済み。※

### 【受け入れサービスの充実例】

例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。(高松港朝日地区)

例) 各観光施設等において必要となる駐車場を事前確保。

例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。

例) ことடன்・JR等の一日乗車券販売、埠頭内での外貨両替を実施。

### 中長期:

### 【受け入れサービスの充実例】

例) オプショナルバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。

例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。

## 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

### 短期:

・入港時は、高松城鉄砲隊等による歓迎アトラクション(H29.9、H29.12、H30.1)やゆるキャラのお出迎え(H30.1)を実施。(香川県)

・出港時は、地元幼稚園児の合唱や夜間時のペンライトによるお見送りを実施。(H30.1)(香川県)

・クルーズ船内における讃岐うどんの提供。(H30.1)(香川県)



### 中長期:

・香川県民の歓迎ムードを高めるため、クルーズ船の寄港情報を県広報誌やホームページ、掲示板等を通じて積極的に発信。(随時)(香川県)

## 今後の対応予定

### 短期:

・関係団体と連携しながら、引き続き、アトラクション等の歓迎行事を実施。(香川県)

### 中長期:

・大型クルーズ船の寄港に備え、周辺道路の交通渋滞を緩和するための対応策を関係団体とともに検討。(香川県)

# 課題4: 効果的なクルーズ船の受入体制 ■ 坂出港

## 対応

### 短期:

- ・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。  
← 坂出市・香川県・香川県商工会議所・香川県観光協会・香川県バス協会・四国地方整備局

### 【受け入れサービスの充実例】

- 例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。
- 例) 各観光施設等において必要となる駐車場を事前確保。
- 例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。
- 例) ことடன்・JR等の一日乗車券販売、埠頭内での外貨両替を実施。

### 中長期:

### 【受け入れサービスの充実例】

- 例) オプショナルバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。
- 例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。

## 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

### 短期:

- ・今後寄港がある際は、平成29年4月2日ににっぽん丸が寄港した際に実施した歓迎事業と同じように、協力していただける団体にお声かけして体制を整える予定であり、現在港湾協力団体の申請について関係機関と調整中である。(坂出市)

### 中長期:

## 今後の対応予定

### 短期:

- ・坂出ニューポートプラン策定後に設置を予定している懇談会の中で協議する予定。(坂出市)

### 中長期:

# 課題5:クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供

## 対応

- 短期:**・クルーズ船着岸が想定されている岸壁においては、モバイル型Wi-Fi機器の準備等必要な対応を検討する。【高松港朝日地区F地区岸壁(-10m) 及び坂出港林田地区A号岸壁(-12m)】←香川県・高松市・坂出市  
高松港玉藻地区ではWi-Fi及び多言語標記については対応済み。  
・主要駅、バス停、集客施設等を中心に周辺観光案内の推進。←香川県・高松市・坂出市・民間・四国地方整備局
- 【円滑なコミュニケーション促進例】
- 例) タクシー車内での英語の「指差しシート」の配布、多言語表記の観光マップの作成・配布。
  - 例) 飲食店のメニュー多言語化支援。
  - 例) 情報端末機器を活用した着地情報の発信。

## 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

- 短期:**
- ・高松港玉藻地区において、乗客に、観光施設や飲食店等を掲載した周辺マップを提供。(H29.9、H29.12、H30.1)(香川県)

## 今後の対応予定

- 短期:**
- ・高松港玉藻地区において、引き続き、乗客等に無料Wi-Fiエリアの周知及び周辺マップの提供を実施。(香川県)
  - ・高松港朝日地区において、寄港時には臨時的に、モバイル型Wi-Fi機器の設置を検討。(香川県)
  - ・クルーズ船着岸時の仮設Wi-Fi等の準備や周辺観光案内の推進については、今後、関係各所と対応を協議する。(坂出市)

## 課題6：港におけるCIQ手続き時の旅客負荷

### 対応

- 短期：**・クルーズ船寄港の際は、CIQ手続きを行うための仮設テント等の用意の実態・状況を把握し、対応について関係者間で協議する。
- 中長期：**・寄港地でのCIQ手続きの簡素化等の要望の有無などの実態・状況を把握し、それらを踏まえた上で関係者間で協議する。

### 対応の取組状況・到達点（平成30年（2018年）3月時点）

#### 短期：

- ・関係機関にクルーズ船の寄港情報を前広に提供し、適切な検査体制となるよう働きかけを実施。（H30.2）（香川県）
- ・税関手続きに関するアンケートを実施。（四国地方整備局）

#### 中長期：

- ・大型クルーズ船の寄港に備え、迅速なCIQ手続きが実施できるよう関係機関に協力を依頼。（H30.2）（香川県）

### 今後の対応予定

#### 短期：

- ・引き続き、関係機関とクルーズ船の寄港情報等を共有。（香川県）

#### 中長期：

- ・引き続き、仮設テントの配置場所等について、関係機関と協議。（香川県）



# (参考) 港におけるCIQ手続き時の旅客負荷

## 【クルーズ船入港時の状況】

高松港玉藻地区岸壁(-10m)、朝日地区F地区岸壁(-10m)及び坂出港林田地区A号岸壁(-12m)は、旅客ターミナル等の施設がないため、CIQ手続きを屋外で実施せざるを得ず、旅客への利便性が損なわれている。

## 【船外でのCIQ手続きの一例】

船外の埠頭に税関業務を行うために設置されたテント



## 手荷物検査



# (参考)税関手続きに関するアンケート

四国地方整備局において、クルーズ船寄港時における税関手続きの実態や要望について、港湾管理者へアンケートを実施した。

なお、クルーズ船寄港時の税関手続きの際には、税関要請のテントは金の密輸などの対策のため財務省が全国の港湾管理者にテントの設置などについて協力要請しているところであり、国土交通省としても、国際クルーズ旅客受入機能高度化事業などで支援しているところ。

調査時期: 2017年11月

対象 港: 2016年の寄港回数が、四国管内の高松港(香川県)と同じ8回以上で、かつ、ターミナルがない港(クルーズ拠点港を除く) 計24港

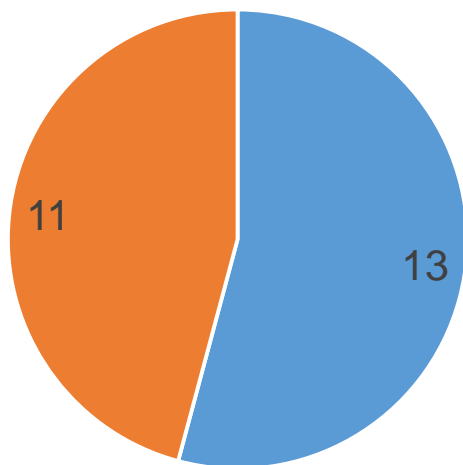
## アンケート内容

Q1. 税関手続きで用意しているものの有無及び内容

Q2. 税関手続きに関する留意事項

Q3. 税関手続きに関して、関係官署に対する要望の有無

## 税関手続で用意しているものの有無



■ 用意なし ■ 用意あり

主なものは「テント」、他に机等

### 【留意していることの主な意見】

- ・港の第一印象は税関手続きで大きく左右されるため、お客様に気持ち良くスムーズに乗下船していただける様、税関等の意向を反映し、迅速な手続きができるよう留意している。
- ・乗客のスムーズな下船のために、可能な限り、担当官庁の要望に応えている。

### 【主な要望】

- ・税関そのものをスムーズにすること。手続きの迅速化。24時間体制等。
- ・仮設テント等、必要な人員、資機材の確保。

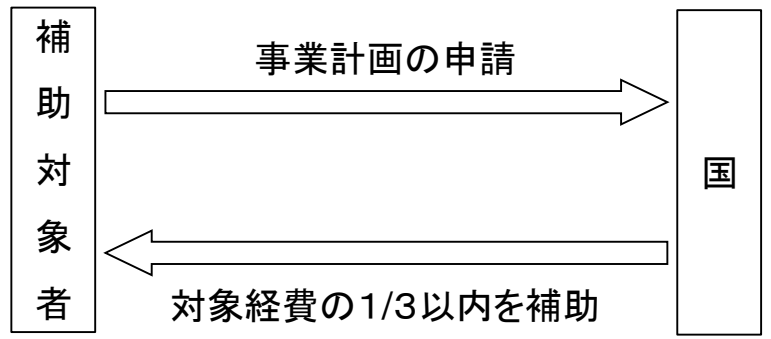
# (参考) 国際クルーズ旅客受入機能高度化事業

○訪日クルーズ旅客数500万人の実現に向けて、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上及び物流機能の効率化を図るために実施する事業を促進することにより、クルーズ旅客の受入機能の高度化及び物流の効率化を図る。

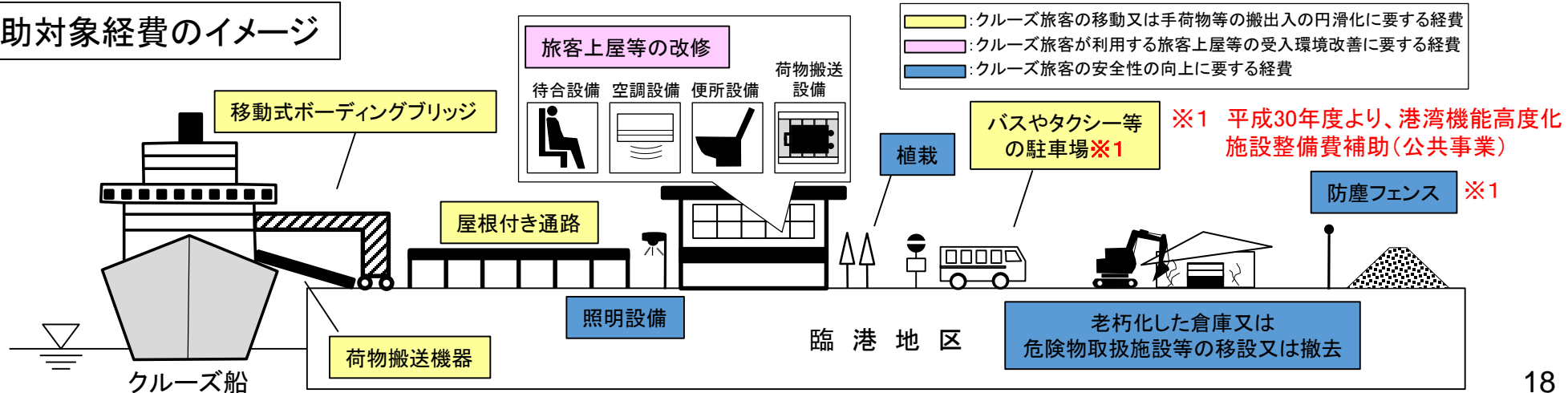
## 事業概要

- 補助対象経費
  - ・クルーズ旅客の移動又は手荷物等の搬出入の円滑化に要する経費
  - ・クルーズ旅客が利用する旅客上屋等の受入環境改善に要する経費
  - ・クルーズ旅客の安全性の向上に要する経費 等
- 補助対象者
  - 地方公共団体(港務局を含む。)又は民間事業者
- 平成29年度採択状況
  - 徳島小松島港及び高知港
  - 屋根付き通路、照明設備、駐車場整備、防塵フェンス 等

## 事業スキーム



## 補助対象経費のイメージ



## 課題7: 国際埠頭施設での大型バス等受け入れのための対応

### 対応

- 短期:**・高松港では、安全措置の方針を既に協議済み。  
・坂出港では外航クルーズ船寄港の際、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、港湾管理者が四国地方整備局と協議し、「埠頭保安規程」を変更するなどにより、仮設フェンスの用意等必要な安全措置を構ずる。  
←坂出市・四国地方整備局

### 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

**短期:**  
(特に対応なし)

### 今後の対応予定

- 短期:**  
・大型クルーズ船の寄港に備え、貨物岸壁を利用する関係者と大型の観光ツアーバス等による渋滞緩和策等について協議。(香川県)  
・仮設フェンス等の設置方法について、四国地方整備局と協議する。(坂出市)

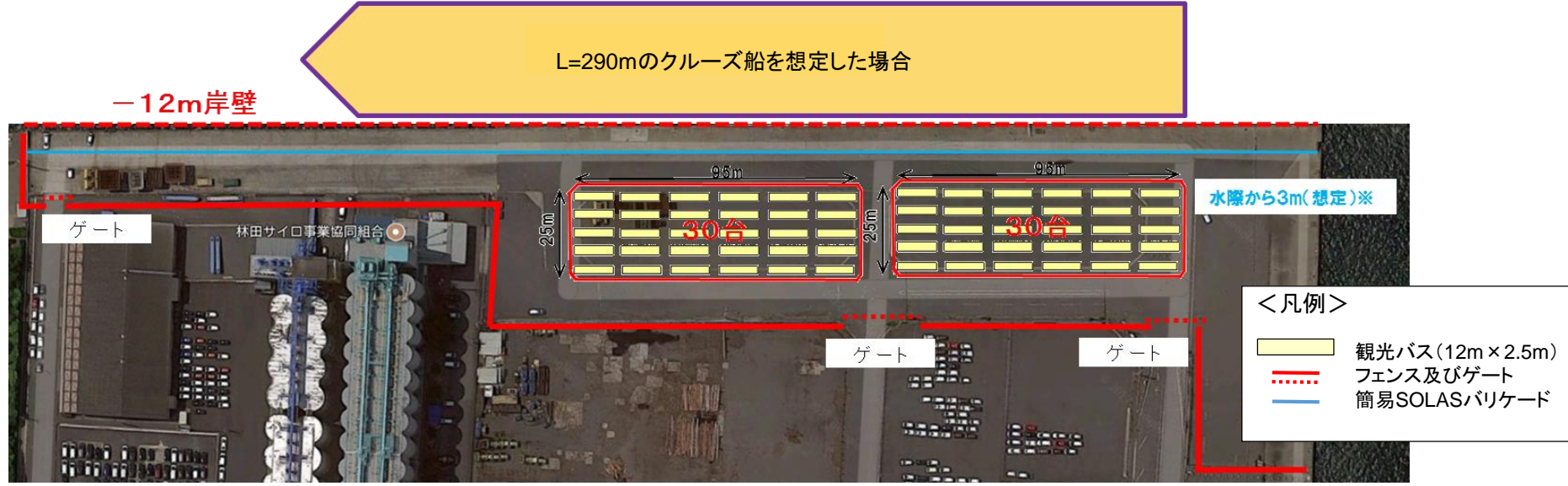
# (参考) 国際埠頭施設での大型バス等受け入れのための対応

## 【ソーラス施設での対応】

国際埠頭施設においては、国際船舶・港湾保安法に基づく保安対策のため、立ち入り制限区域を設けている。  
外航クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が埠頭内に安全に入ることができるように、制限区域のレイアウト変更の調整が必要。

## 【坂出港での対応(案)】

### SOLAS施設(フェンス、ゲート、バリケード)のレイアウト案



※離隔距離・レイアウトについて、四国地方整備局と要調整



制限区域のレイアウト変更により、クルーズ船近くで歓送迎が可能となった宇和島港

## 課題8: 高松港における港湾貨物との競合

### 対応

**短期:**・クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者)に情報提供するとともに、受入体制について関係者と調整を行う。←香川県

### 対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

#### 短期:

- ・大型クルーズ船の寄港に備え、定期コンテナ船入港日時との調整、入港前日及び当日にコンテナ荷役作業をするための場所の確保、大型クルーズ船接岸エリアとコンテナターミナル荷役作業エリアの確実な分離等を調整・検討する調整会を開催。(H29.12、H30.1、H30.2)(香川県)
- ・貨物岸壁を利用する関係者に対し、受入れ体制の協力を依頼するとともに、個別具体的な課題についても検討。(H29.12、H30.1、H30.2)(香川県)

### 今後の対応予定

#### 短期:

- ・引き続き、港湾利用者と個別具体的な課題等について協議。(香川県)

#### 中長期:

- ・総トン数5万トン以上の大型クルーズ船に関して、コンテナ取扱岸壁での受入実績の推移を踏まえた上で、定期コンテナ船との競合が顕著になる場合は、クルーズ船の利用が恒常的に可能となる岸壁を別途整備することを要望。(高松港運協会)

## 課題9：坂出港における港湾貨物との競合

### 対応

- 短期：**・クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者（船社・荷主・港運関係者）に情報提供するとともに、受入体制について関係者と調整を行う。←坂出市  
・大型のクルーズ船の寄港に向けて、現状の係船柱の耐力を検証する。←坂出市
- 中長期：**・必要となる係船柱の整備を検討する。←坂出市

### 対応の取組状況・到達点（平成30年（2018年）3月時点）

- 短期：**  
・係船柱の耐力検証のための予算をH30年度に措置。（坂出市）

**中長期：**

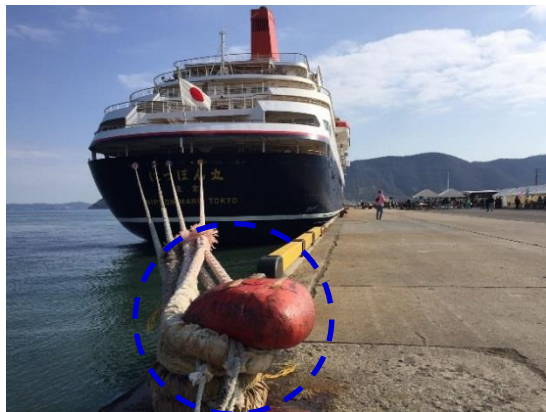
### 今後の対応予定

- 短期：**  
・岸壁利用者への情報提供を実施する。  
・係船柱の耐力の検証（予算については3月末決定予定）。

- 中長期：**  
・係船柱の耐力検証結果により、対応を検討する。

# (参考) 坂出港における港湾貨物との競合

坂出港林田地区A号岸壁(-12m)は、水深が深く延長も長い。また、背後ふ頭用地を大型バスの駐車場に活用できるなど、クルーズ船寄港の実績がある。一方、穀物を扱うバルク船が不定期で就航しているため、これら利用者との調整が必要。また、大型クルーズ船が安全に着岸するためには、係船柱の耐力の検証が必要である。



※大型クルーズ船の接岸の際は、係船柱の耐力の検証が必要

